

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度（2017年度）		授業科目	現代の世界	
科目基礎情報							
科目番号		0003		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		物質工学科		対象学年		2	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		『世界史A』（第一学習社）、『明解世界史図説エスカリエ』（帝国書院）					
担当教員		赤崎 雄一					
到達目標							
現代史を手がかりにして、世界各地域の社会・文化を理解でき、国際人として教養を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
現代世界の各地域の歴史を理解する		現代世界の各地域の歴史を理解できる		現代世界の各地域の歴史を基本的に理解できる		現代世界の各地域の歴史を理解できない	
現代世界の各地域の社会・文化を理解する		現代世界の各地域の社会・文化を理解できる		現代世界の各地域の社会・文化を基本的に理解できる		現代世界の各地域の社会・文化を理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		日本を含めた近現代の世界について学ぶ。					
授業の進め方・方法		プリント、視聴覚教材を利用した講義を行い、最後に授業のまとめの問題を解かせる。					
注意点		日頃から新聞、ニュースを見るようにすること。					
授業計画							
前期		週	授業内容		週ごとの到達目標		
	1stQ	1週	帝国主義の時代		授業内容を理解できる		
		2週	第一次世界大戦とロシア革命		授業内容を理解できる		
		3週	ヴェルサイユ・ワシントン体制とアメリカ		授業内容を理解できる		
		4週	アジアの民族運動		授業内容を理解できる		
		5週	世界恐慌とファシズムの台頭		授業内容を理解できる		
		6週	第二次世界大戦		授業内容を理解できる		
		7週	日本の軍国主義と中国		授業内容を理解できる		
		8週	アジア・太平洋戦争		授業内容を理解できる		
	2ndQ	9週	戦後世界の出発		授業内容を理解できる		
		10週	戦後のアジア		授業内容を理解できる		
		11週	戦後の西アジアと第三世界		授業内容を理解できる		
		12週	アメリカ合衆国の動揺		授業内容を理解できる		
		13週	冷戦の終結		授業内容を理解できる		
		14週	アジアの変容		授業内容を理解できる		
		15週	冷戦後のアメリカと国際社会		授業内容を理解できる		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
		試験		発表		合計	
総合評価割合		90		10		100	
配点		90		10		100	